

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2005-270316(P2005-270316A)

【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-87331(P2004-87331)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月28日(2006.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

第7の発明によると、第1乃至第5の発明において、前記遊技時間情報出力手段は、遊技球発射毎に出力されるパルス信号として遊技時間情報を出力し、前記変動表示時間情報出力手段は、変動表示状態中に出力されるレベル信号がアクティブである場合のみに、前記パルス信号を前記変動表示時間情報として出力するので、情報収集側が、遊技機から極めて簡潔な形式で容易に収集可能な形態の信号を出力できる。さらに、各制御手段にかかる制御負荷を低減することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 2】

また、表は、前述した、総遊技時間、総変動表示時間、表示装置全体作動率(総変動表示時間÷総遊技時間)、通常遊技時間、稼働中変動表示時間、表示装置通常作動率(稼働中変動表示時間÷通常遊技時間)が横軸に表示されている。表示装置全体作動率からは、当該遊技機における遊技者の遊技動向が把握でき、表示装置通常作動率からは、遊技機の個性が把握できる。遊技機個別の調整には表示装置通常作動率を参照して行う。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 3】

以上のように構成された本発明の第1の実施の形態の遊技システムでは、遊技機6aにおいて、発射球、変動表示開始コマンド、変動表示停止コマンド、大当たり中又は確率変動中(特別遊技状態)を示す信号から、総遊技時間、総変動表示時間、表示装置全体作動率(総変動表示時間÷総遊技時間)、通常遊技時間、稼働中変動表示時間、表示装置通常作動率(稼働中変動表示時間÷通常遊技時間)を算出する。この算出された情報によって、

遊技場における遊技機の性能を把握する指標を得て、より適切な調整の判断材料の一つとして表示性能を客観的に把握することが可能になる。